

風水害に備える



1 台風や大雨が来る前 周囲の危険性を知る

住んでいる所、職場、通勤・通学経路にどんな危険があるのか確認しておきましょう。

● 危険性を知るには

各自治体で作成しているハザードマップ(防災マップ)を確認しましょう。
ウェブサイトで閲覧できる他、各市役所・町役場で配布をしています。



2 雨が降り始めたら 雨量や避難情報を自ら確認する

大雨が降りだしたら、テレビやラジオ、スマートフォンなどで気象情報や避難情報を自ら積極的に確認する習慣をつけましょう。

● 家族で状況を確認

家族の状況をお互いに確認し、この時点でいつでも避難できる準備を整えておきましょう。



3 危険が迫る前に 早めの避難行動を

● 被害が発生してからでは手遅れ！

避難のタイミングが遅いことで逃げ遅れるケースが多々あります。

家族や地域の方々と声を掛け合い、早めに安全な場所へ避難しましょう。

夜中に大雨が想定される場合や、お年寄りや障がいのある方とその家族は、警戒レベル3で避難しましょう。

警戒
レベル

4 避難指示で危険な場所から全員避難！

危険度 ↑	警戒レベル	避難情報等	
	5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保 ※1
レベル4までに全員必ず避難!!			
4	災害の おそれ高い	避難指示	危険な場所から全員避難
3	災害の おそれあり	高齢者等避難 ※2	危険な場所から 高齢者等は避難
2	気象状況 悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	避難に備え、ハザードマップなど により自らの避難行動を確認
1	今後気象 状況悪化の おそれ	早期注意情報 (気象庁)	最新の防災気象情報に注意し、 災害への心構えを高める
低			

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。